中部地方

名前

問1　2020年の統計において、ある農作物の国内生産量（主原料）の内訳を見ると、静岡県が36.1%で第1位、鹿児島県が34.2%で第2位となっており、この2県で全国の約7割を占めています。静岡県内では東名高速道路沿いの台地などで大規模な農園が見られる、この農産物を選びなさい。（2022年 奈良県公立入試 類似）

1. レタス
2. みかん
3. 茶
4. キャベツ

問2　ある都道府県の統計データにおいて、年平均気温が16.5度、年降水量が2324.9mmと温暖多雨な気候を示し、農業産出額の上位品目に「茶」と「みかん」の両方が含まれている都道府県はどこですか。（2016年 東京都公立入試 類似）

1. 長野県
2. 宮崎県
3. 宮城県
4. 静岡県

問3　東海工業地域に属する静岡県では、自動車やオートバイなどの生産が非常に盛んです。県の製造品出荷額において、24パーセント以上の最も高い割合を占めている産業分類を選択肢から選びなさい。（2026年 三重県公立入試 類似）

1. 輸送用機械器具製造業
2. 情報通信機械器具製造業
3. 電気機械器具製造業
4. 化学工業

問4　愛知県の渥美半島は、かつては水不足に悩まされる地域でしたが、ある大規模な用水路が整備されたことで、日本有数の農業地帯へと発展しました。この地域に供給され、施設園芸農業の発展を支えている用水の名称として正しいものはどれですか。（2026年 富山県公立入試 類似）

1. 明治用水
2. 愛知用水
3. 香川用水
4. 豊川用水

問5　中部地方の日本海側が、世界でも有数の豪雪地帯となっている理由について述べた文として正しいものを、海流の性質と季節風の関係から選びなさい。（2016年 兵庫県公立入試 類似）

1. 太平洋側を流れる暖流の黒潮から分かれた対馬海流が、冬の乾燥した季節風を冷やすことで、日本海側に霧を発生させるため。
2. 日本海を北上する暖流の対馬海流の上空で水蒸気が発生し、それが湿った北西の季節風によって運ばれ、高い山脈に突き当たるため。
3. 日本海を北上する寒流の親潮が海水を冷却し、北東から吹く湿った季節風が中部地方の平野部で冷やされて雪を降らせるため。
4. 日本海を南下する寒流のリマン海流の影響で気温が下がり、太平洋側から吹き込む季節風が冷やされて雪に変わるため。

問6　福井県鯖江市の眼鏡産業のように、かつて積雪が多く農作業ができない「農閑期」に、農家の「副業」として始まった地場産業が、都市部から離れた地域でも大きく発展した理由として、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 雪国の農閑期における安価な労働力を活用できたため
2. 原料となる鉱物資源や燃料となる木材が、その地域付近で豊富に採れたため
3. 海外から安価な製品が大量に輸入され、その加工技術が直接伝わったため
4. 鉄道の開通により、大消費地である東京や大阪へ短時間で出荷できたため

問7　2023年度の統計において、発電電力量が多い上位4県を岐阜県、富山県、新潟県、長野県といった中部地方の県が独占している発電方式について、その特徴として適切な記述を選んでください。（2026年 北海道公立入試 類似）

1. 二酸化炭素を排出せずに繰り返し利用できる、再生可能エネルギーの一つに位置づけられる。
2. 天候に左右されやすく、夜間や無風の状態では発電が不可能になるという課題がある。
3. ウランを燃料として利用し、一度の発電で大量の電力を安定して供給できるが放射性廃棄物が出る。
4. 石炭や天然ガスなどの化石燃料を燃焼させて蒸気を作り、タービンを回して発電する。

問8　中部地方の太平洋沿岸部で行われている、温室やビニールハウスを活用した「施設園芸農業」の利点について、その背景や目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2022年 山口県公立入試 類似）

1. 高冷地の冷涼な夏の気候を活かして、他の地域よりも収穫の時期をあえて遅らせることで、競合を避けて高い価格で販売できる。
2. 自然環境の影響を抑え、気温や湿度を管理することで、季節を問わず計画的に作物を生産・出荷できる。
3. 大消費地に近い立地を活かして、収穫したばかりの鮮度が高い野菜を、輸送コストを抑えて市場へ届けることができる。
4. 広大な土地に大規模な機械を導入することで、土地の単位面積あたりの収穫量を増やし、穀物を大量生産できる。

問9　愛知県の工業に関する統計において、1960年から2014年にかけて工場の数にあたる事業所数は減少している一方で、製造品出荷額は1.4兆円から43.8兆円へと劇的に増加しています。この変化の背景として、2014年時点で出荷額全体の約7割を占めるまで成長し、愛知県の経済を支えている工業分野を次の中から選びなさい。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業
2. 沿岸部のコンビナートで発展した基礎素材を作る金属工業
3. 全国的な需要拡大に伴い事業所数が増加した木材・木製品工業
4. 古くから地域の経済を支えてきた伝統的なせんい工業

問10　日本の気候区分において、日本海側の気候に見られる冬の様子と、それが人々の生活に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 大阪府公立入試 類似）

1. シベリア高気圧からの風が山脈に遮られてフェーン現象を引き起こすため、冬でも気温が高く、農作物の成長が早まった。
2. 南東の季節風が山脈を越えて乾いた風として吹き込むため、冬でも乾燥した晴天が続き、屋外での作業が効率的に進められた。
3. 日本海を渡る北西の季節風の影響で積雪が多く、冬の農作業が制限されるため、古くから冬の間の労働力を生かした産業が発達した。
4. 対馬海流の影響で冬でも非常に温暖であり、雪が降らないため、二毛作による農業が盛んに行われた。

問11　群馬県嬬恋村と愛知県豊橋市の月別平均気温を比較すると、夏季において嬬恋村は豊橋市よりも大幅に気温が低く、キャベツの生育に適した温度が保たれています。このような農業が行われている地域として、共通する地理的条件を答えなさい。（2023年 長崎県公立入試 類似）

1. 緯度が低い地域
2. 標高が高い地域
3. 内陸の広大な盆地
4. 暖流の影響を強く受ける沿岸部

問12　富山ライトレール（LRT）の導入による人々の移動手段の変化について、利用者の構成に着目した記述として正しいものはどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）

1. 旧JR線の利用者だけでなく、自家用車を利用していた層や以前は鉄道を利用していなかった層が一定数利用するようになった。
2. 旧JR富山港線の利用者のみが継続して利用しており、車社会から公共交通への転換という目標は達成されていない。
3. 以前はバスを利用していた人々がすべて自家用車での移動に切り替えたため、鉄道の利用者は旧JR時代よりも大幅に減少した。
4. 以前は自転車を利用していた層が急増した一方で、旧JR富山港線を利用していた人々の多くが鉄道の利用をやめてしまった。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 茶	静岡県は気候が温暖で、排水の良い牧之原などの台地が広がっていることから、古くからこの農作物の栽培が盛んです。統計上では静岡県が1位、鹿児島県が2位となっており、この2県が日本の主要な産地として知られています。選択肢にある「みかん」も静岡県の特産物ですが、統計の割合や栽培景観の特徴から判断すると、茶が最も適切です。
問2	答え 4 静岡県	静岡県は、太平洋側の温暖な気候と、牧之原台地に代表される水はけの良い台地、さらには日当たりの良い傾斜地という地形的特色を持っています。これを活かして台地では茶の栽培が、傾斜地ではみかんの栽培が盛んに行われており、いずれも全国上位の産出額を誇ります。宮崎県も温暖ですが茶のイメージは静岡ほど強くなく、長野県や宮城県は気候データが異なります。
問3	答え 1 輸送用機械器具製造業	静岡県は愛知県などとともに東海工業地域を形成しており、特に浜松市周辺などを中心に自動車や二輪車（オートバイ）の生産拠点が集まっています。製造品出荷額の統計資料においても、輸送用機械が全体の4分の1近くを占める最大の基幹産業となっており、これに電気機械や化学工業が続く構成が特徴です。
問4	答え 4 豊川用水	渥美半島はもともと大規模な河川がなく水不足に悩まされていましたが、1960年代に豊川用水が完成したことで、安定した農業用水の確保が可能になりました。これにより、温室を利用した施設園芸農業が急速に発展しました。なお、愛知用水は知多半島、明治用水は安城市周辺（西三河平野）を流れる用水です。
問5	答え 2 日本海を北上する暖流の対馬海流の上空で水蒸気が発生し、それが湿った北西の季節風によって運ばれ、高い山脈に突き当たるため。	日本海側を流れる暖流である対馬海流は、冬でも海水温が比較的高いため、その上空で多くの水蒸気が発生します。大陸から吹く冷たく乾いた北西の季節風が日本海を渡る際、この水蒸気をたっぷりと含んで湿った空気に変わります。この空気が中部地方の険しい山地（越後山脈など）にぶつかって上昇することで、日本海側に大量の雪を降らせる仕組みになっています。
問6	答え 1 雪国の農閑期における安価な労働力を活用できたため	北陸地方などの多雪地域では、冬の間に農作業ができない農閑期が存在します。この期間の農民の労働力を副業として活用することで、都市部に比べて賃金が安い（安価な労働力）という利点を生かし、地場産業が成立・発展しました。鯖江市の眼鏡産業も、当初はこのように農家の冬の仕事として広まったものです。現在は、より人件費の安い発展途上国との価格競争が課題となっています。
問7	答え 1 二酸化炭素を排出せずに繰り返し利用できる、再生可能エネルギーの一つに位置づけられる。	水力発電は、自然界に存在する水の循環を利用して発電するため、石油や石炭などの化石燃料を消費しません。そのため、地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO2）をほとんど排出せず、永続的に利用可能な「再生可能エネルギー」として、環境負荷の低い重要な電源となっています。
問8	答え 2 自然環境の影響を抑え、気温や湿度を管理することで、季節を問わず計画的に作物を生産・出荷できる。	施設園芸農業の最大の目的は、建物によって内部の環境をコントロールすることにあります。これにより、本来の生育時期ではない季節に栽培したり、天候不順による被害を防いだりすることが可能になり、市場の需要に合わせて安定的に出荷できるようになります。選択肢にある「都市に近い立地を活かす」ものは近郊農業、「収穫時期を遅らせる」ものは抑制栽培の特徴を説明したものです。
問9	答え 1 自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業	愛知県では高度経済成長期以降、産業構造が大きく変化しました。1960年頃はせんい工業などの軽工業も一定の割合を占めていましたが、その後、豊田市周辺を中心に自動車産業（輸送用機械）が圧倒的な成長を遂げました。その結果、事業所の集約化が進み数は減ったものの、機械工業の生産性が飛躍的に向上したことで、製造品出荷額は30兆円を大きく超える規模に達しています。
問10	答え 3 日本海を渡る北西の季節風の影響で積雪が多く、冬の農作業が制限されるため、古くから冬の間の労働力を生かした産業が発達した。	冬の日本海側では、日本海を渡る際に水分を蓄えた冷たい季節風が山脈にあたって大量の雪を降らせます。この積雪により冬場の農業が制限されるという厳しい環境条件が、結果として室内で行う伝統的な工芸品や織物といった産業を育む要因となりました。「農作業ができない期間」を「別の仕事にあてる期間」として活用した、地域独自の工夫が見られます。
問11	答え 2 標高が高い地域	高冷地農業が成立する最大の要因は「標高」にあります。平地である豊橋市は夏に30度近い気温になりますが、標高1000mを超える地域にある嬬恋村では、夏でも平均気温が20度前後に保たれます。この涼しい気候こそが、冷涼な環境を好む野菜の栽培を可能にしています。
問12	答え 1 旧JR線の利用者だけでなく、自家用車を利用していた層や以前は鉄道を利用していなかった層が一定数利用するようになった。	富山ライトレールの利用者構成を調査したデータによると、以前から鉄道（JR）を利用していた人は全体の半数に満たない46.8%です。残りの約半数は、以前は自家用車で移動していた人や、新しくその路線を使い始めた人、あるいは徒歩・自転車から切り替えた人たちです。特に自家用車や新規層が合計で3割以上を占めていることは、JR富山港線を利用していなかった人が新たに鉄道を利用するようになったことを示しています。

中部地方

名前

問1　日本の気候区分において、日本海側の気候に見られる冬の様子と、それが人々の生活に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 大阪府公立入試 類似）

1. 対馬海流の影響で冬でも非常に温暖であり、雪が降らないため、二毛作による農業が盛んに行われた。
2. 日本海を渡る北西の季節風の影響で積雪が多く、冬の農作業が制限されるため、古くから冬の間の労働力を生かした産業が発達した。
3. 南東の季節風が山脈を越えて乾いた風として吹き込むため、冬でも乾燥した晴天が続き、屋外での作業が効率的に進められた。
4. シベリア高気圧からの風が山脈に遮られてフェーン現象を引き起こすため、冬でも気温が高く、農作物の成長が早まった。

問2　中部地方の地図上において、北側に位置する飛騨山脈、中央に位置する木曽山脈、そして南東側に位置する赤石山脈の3つを総称した呼び名として適切なものを選びなさい。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 四国山地
2. 日本アルプス
3. 中国山地
4. 奥羽山脈

問3　富山市では、2000年代以降に公共交通機関を中心とした都市整備が進められました。2002年に発行された2万5千分の1地形図と比較して、2015年に発行された地形図から読み取ることができる、中心市街地の大きな変化として適切なものはどれか。（2024年 広島県公立入試 類似）

1. 路面電車の軌道が延伸され、JR富山駅周辺でループ状に接続された
2. JR線の線路がすべて撤去され、跡地が大規模な公園として整備された
3. 中心市街地の道路がすべて歩行者専用道路となり、車両の通行が禁止された
4. 消防署がすべて変電所の北側に移転し、公共施設の集約が進んだ

問4　中部地方のある都市の統計において、1月の平均気温がマイナス0.4度、7月の平均気温が23.6度となっています。また、降水量は1月が35.9mmと非常に少なく、7月は138.4mmとなっています。長野県などの内陸部で見られるこのような気候区分を何と呼びますか。（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. 中央高地の気候
2. 日本海側の気候
3. 瀬戸内の気候
4. 太平洋側の気候

問5　日本の標高を示した資料において、北側の富山県側から順に飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈という3つの険しい山脈が並んでいる地域を指す総称と、それらの山脈の多くが位置する県の名称の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2019年 大阪府公立入試 類似）

1. 中国山地 ― 岡山県
2. 越後山脈 ― 新潟県
3. 日本アルプス ― 長野県
4. 奥羽山脈 ― 岩手県

問6　新潟県から静岡県付近にかけて本州を南北に縦断する、地面が大きく落ち込んだ溝のような地帯を何といいますか。この地帯は、本州の地層や岩石の性質が東側と西側で大きく異なる境界線となっています。（2023年 岩手県公立入試 類似）

1. フォッサマグナ
2. 中央構造線
3. シベリア高気圧
4. 日本アルプス

問7　長野県は、レタスの収穫量が全国1位であることで知られています。この長野県におけるレタス栽培の特色と、その背景にある地理的条件の説明として最も適切なものはどれですか。（2025年 兵庫県公立入試 類似）

1. 標高が高い地域の冷涼な気候を活かして、平地の収穫が減る夏季に出荷する「抑制栽培」が行われている。
2. 大都市に近い立地を活かして、収穫した野菜の鮮度を保ったまま即日出荷する「近郊農業」が中心である。
3. 冬でも温暖な気候を活かして、他の地域よりも出荷時期を早める「促成栽培」が行われている。
4. 広大な平野と大型機械を利用して、小麦や大豆と組み合わせた大規模な「土地利用型農業」が行われている。

問8　日本海側の北陸地方では、冬に大量の雪が降るという気候特性があります。この自然環境が、この地域の稲作にどのような利点をもたらしているか、その仕組みを説明したものとして適切なものを選びなさい。（2021年 徳島県公立入試 類似）

1. 冬の低温と雪によって害虫の発生が抑えられるため、夏場の肥料が不要になる仕組み。
2. 雪解け水が地中の地熱を冷やすことで、夏の猛暑による稲の病気を防ぐ仕組み。
3. 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。
4. 雪が断熱材の役割を果たし、冬の間も水田でレタスなどの高原野菜を栽培できる仕組み。

問9　日本の農産物の統計において、中部地方はレタスの収穫量が6月から10月の時期に突出して多く、他の地方と対照的な傾向が見られます。このように、標高の高い地域の涼しい気候を利用して、平地の出荷が少なくなる時期に栽培を行う農業形態を何といいますか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）

1. 二毛作
2. 高冷地農業
3. 近郊農業
4. 促成栽培

問10　富山県高岡市の市街地が描かれた地形図の読図について、図中から読み取れる内容や方位・距離の関係を説明した文として正しいものはどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 高岡駅から見て市役所が「北西」にある場合、市役所から見た駅の方位は「南東」となる。
2. 2万5千分の1の地形図において、図上の1cmは実際の距離で500mに相当するため、市役所から1.2cm離れた場所は実際の600m地点である。
3. 市役所周辺の寺院と神社の記号を比較すると、一般的に鳥居の記号で示される神社の方がまんじの記号の寺院より数多く分布している。
4. 地形図上の市役所の記号は、官公署を表す「○（丸）」の中に「×（バツ）」を描いた記号で示される。

問11　日本の中部地方の内陸部、特に周囲を高い山々に囲まれた盆地状の地域では、山地が壁となることで季節風の影響を受けにくく、年間の降水量が少なくなる傾向があります。このような地域において、不足しがちな農業用水を確保する目的で古くから作られてきた人工的な池を何と呼びますか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）

1. 遊水地
2. 砂防ダム
3. 地下水路
4. ため池

問12　愛知県を中心に広がる中京工業地帯が、他の工業地帯を抑えて日本最大の製造品出荷額を誇っている主な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 岐阜県公立入試 類似）

1. 東京という巨大な消費地に隣接しており、印刷業や食料品工業が発達しているため。
2. 自動車産業を中心とした輸送用機械の製造が極めて盛んであり、関連企業の集積が進んでいるため。
3. 広大な埋立地を利用した鉄鋼業や石油化学コンビナートの生産額が、他の地域を圧倒しているため。
4. 古くから「東洋のマンチェスター」と呼ばれ、繊維工業から発展した総合的な工業地域だから。

問13　日本の7地方区分の一つである「中部地方」の位置関係や構成について、正しく説明しているものを選びなさい。（2023年 滋賀県公立入試 類似）

1. 本州の東端に位置し、北側で東北地方、南側で関東地方と隣接している。
2. 本州の中央部に位置し、東側で関東地方、西側で近畿地方と隣接している。
3. 日本列島の北部に位置し、津軽海峡を隔てて北海道地方と向かい合っている。
4. 本州の西側に位置し、東側で中国・四国地方、西側で九州地方と隣接している。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 日本海を渡る北西の季節風の影響で積雪が多く、冬の農作業が制限されるため、古くから冬の間の労働力を生かした産業が発達した。	冬の日本海側では、日本海を渡る際に水分を蓄えた冷たい季節風が山脈にあたって大量の雪を降らせます。この積雪により冬場の農業が制限されるという厳しい環境条件が、結果として室内で行う伝統的な工芸品や織物といった産業を育む要因となりました。「農作業ができない期間」を「別の仕事にあてる期間」として活用した、地域独自の工夫が見られます。
問2	答え 2 日本アルプス	飛騨・木曽・赤石の3つの山脈は、いずれも標高3000m級の非常に高い山々が連なっていることから、ヨーロッパのアルプス山脈にちなんで「日本アルプス」と呼ばれています。これらは日本の地形の骨格をなす重要な山脈であり、その高さから「日本の屋根」とも表現されます。
問3	答え 1 路面電車の軌道が延伸され、JR富山駅周辺でループ状に接続された	富山市では、公共交通を軸とした街づくりを進めるため、既存の路面電車の路線を延長・接続し、中心部を一周できる環状線（セントラム）の運行を開始しました。地形図の経年比較においても、駅周辺で途切れていた軌道がループ状に繋がる変化として捉えることができます。他の選択肢にあるような極端な公共施設の集約や鉄道の廃止は行われていません。
問4	答え 1 中央高地の気候	数値データを見ると、1月の平均気温が0度を下回る「氷点下」であることから、冬の寒さが厳しいことがわかります。また、1月の降水量が極めて少ない一方で、7月の降水量は1月の3倍以上になっており、「夏に雨が多く、冬に少ない」という内陸部特有の性質を示しています。これらは長野県などの標高が高い地域や盆地で見られる中央高地の気候の典型的な特徴です。日本海側の気候であれば、冬の降水量はもっと多くなります。
問5	答え 3 日本アルプス ― 長野県	飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の3つを総称して日本アルプスと呼びます。これらは「日本の屋根」とも称され、主に長野県を中心に、岐阜県、山梨県、静岡県などにまたがって位置しています。これらの山脈はプレートの衝突などの地殻変動によって形成された険しい地形です。
問6	答え 1 フォッサマグナ	ラテン語で「大きな溝」を意味するこの地帯は、日本列島が形成される過程で生じた巨大な地溝帯です。新潟県から静岡県を結ぶラインを西の端（糸魚川・静岡構造線）として、本州の地質的な構造を東日本と西日本に大きく分ける重要な境界となっています。
問7	答え 1 標高が高い地域の冷涼な気候を活かして、平地の収穫が減る夏季に出荷する「抑制栽培」が行われている。	長野県の中央高地や群馬県の嬬恋村などの高冷地では、夏の涼しい気候を利用して、本来は秋から春にかけて収穫されるレタスやキャベツを夏から秋にかけて栽培します。これを「抑制栽培」と呼び、平地での生産が少なくなる時期に市場へ出荷することで、高い利益を得る工夫がなされています。冬の暖かさを利用する「促成栽培（宮崎県や高知県など）」とは対照的な仕組みです。
問8	答え 3 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。	北陸地方の稲作において、冬の降雪は「天然のダム」としての役割を果たします。山地に積もった大量の雪が春から初夏にかけて徐々に溶け出すことで、田植えの時期に必要となる大量の水を安定して供給することができます。この雪解け水という安定した水源があることが、北陸地方で単作（年1回の稲作）による大規模な米作りが発展した背景にあります。
問9	答え 2 高冷地農業	標高の高い地域（高原）の冷涼な気候を活かした農業です。宮崎県や高知県で見られる、冬の温暖な気候を利用して出荷を早める「促成栽培」とは対照的に、出荷時期を遅らせる「抑制栽培」の一種として、長野県のレタスやキャベツの栽培が代表例です。
問10	答え 1 高岡駅から見て市役所が「北西」にある場合、市役所から見た駅の方位は「南東」となる。	方位は相対的な関係にあるため、A地点から見てB地点が北西にあるならば、B地点から見たA地点は真反対の南東になります。高岡市の歴史的な市街地では、伝統的に寺院（まんじの記号）が多く配置されている傾向があり、「神社の方が多い」という判断には注意が必要です。また、警察署が「○に×」、市役所が「◎（二重丸）」、2万5千分の1地形図の1cmは実際には250m（1kmが4cm）であるという基本知識も重要です。
問11	答え 4 ため池	中部地方の中央高地は、高い山々に囲まれているために湿った季節風が遮られ、全国的に見ても雨や雪が少ない地域です。そのため、古くから雨水などを貯めておく「ため池」を築くことで、稲作などの農業に必要な水を安定して供給できるように工夫されてきました。
問12	答え 2 自動車産業を中心とした輸送用機械の製造が極めて盛んであり、関連企業の集積が進んでいるため。	中京工業地帯の最大の特徴は、自動車の生産に特化した産業構造にあります。組み立て工場だけでなく、部品を製造する中小企業までが同じ地域に高密度に集まっているため、効率的な生産体制が築かれています。この自動車産業（輸送用機械）の圧倒的な生産規模が、日本一の出荷額を支える要因となっています。なお、選択肢にある「巨大な消費地」は京浜、「東洋のマンチェスター」は阪神の特徴です。
問13	答え 2 本州の中央部に位置し、東側で関東地方、西側で近畿地方と隣接している。	中部地方は、その名の通り日本（本州）の中央に位置しています。愛知県や長野県、新潟県などを含む広い範囲を指し、東は関東地方、西は近畿地方という大きな経済・文化圏に挟まれているのが地理的な大きな特徴です。

中部地方

名前

問1　石川県輪島市を中心に生産される「輪島塗」は、他の地域の漆器と比較しても非常に堅牢（丈夫）であることで知られています。その品質を維持し、製品の耐久性を高めるために行われている、この地域独自の技法に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 新潟県公立入試 類似）

1. 木材を乾燥させずに加工し、漆を染み込ませることでひび割れを防いでいる。
2. 接着剤を使わずに複雑な木組みを行うことで、衝撃を吸収する構造にしている。
3. 鉄を高温で熱して叩き、不純物を取り除くことで強度を高めている。
4. 下地の工程で、地元で採れる地粉（珪藻土）を漆に混ぜて塗り、器を補強している。

問2　ある県の産業別就業者割合を確認すると、第2次産業の割合が約33%と全国的に見ても高い水準を示している。この県は東海工業地域に位置し、輸送用機械や楽器などの製造業が盛んである。この県として最も適当なものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 沖縄県
2. 静岡県
3. 青森県
4. 北海道

問3　日本の高速鉄道網である新幹線は、全国各地を結び地域の発展に寄与していますが、すべての県に路線が通っているわけではありません。東北地方の青森県、北陸地方の石川県、九州地方の鹿児島県にはすでに新幹線の駅が設置されていますが、これら3つの県とは異なり、現在、新幹線の路線が通っておらず、駅も設置されていない県はどこですか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）

1. 石川県
2. 鹿児島県
3. 青森県
4. 山梨県

問4　製造品出荷額に占める工業分野別割合において、輸送用機械器具の割合が約半数を占め、全体の製造品出荷額等でも全国トップである愛知県の工業に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2022年 宮崎県公立入試 類似）

1. 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集中的に立地している。
2. 電子部品や半導体の生産が盛んで、内陸部の高速道路沿いに工場が集積している。
3. 石油化学コンビナートが形成され、化学工業の割合が最も高くなっている。
4. 製鉄所を中心とした鉄鋼業が発展し、臨海部に巨大な重工業地帯が広がっている。

問5　日本各地には、その土地の自然環境や歴史的背景を活かした「地場産業」が根付いています。中部地方の日本海側に位置する都市のうち、冬の厳しい降雪期における屋内作業から発展し、現在は世界的な眼鏡フレームの産地として知られる都市はどこですか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）

1. 岡山市
2. 鯖江市
3. 高山市
4. 宮津市

問6　名古屋市の製造品出荷額の構成を示した統計において、約36%を占める電気機械に次いで、出荷額全体の14%を占めている工業分野があります。人口が集中する大都市としての消費需要を背景に、名古屋市内で発達しているこの工業分野は何ですか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 非鉄金属工業
2. 食料品工業
3. 窯業・土石製品工業
4. パルプ・紙工業

問7　新潟県、山梨県、長野県の農業産出額の統計において、各県で最も産出額が多い作物の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）

1. 新潟県：野菜、山梨県：米、長野県：果実
2. 新潟県：米、山梨県：野菜、長野県：果実
3. 新潟県：米、山梨県：果実、長野県：野菜
4. 新潟県：果実、山梨県：野菜、長野県：米

問8　北陸地方の気候の特徴を説明した文として、年間の降水量の変化や季節風の影響を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 冬は北西からの季節風の影響で雪や雨が多く、12月や1月の降水量が300mmを超えるなど、冬の降水量が夏より多い。
2. 標高が高いため一年を通じて気温が低く、夏と冬の気温差は大きいが、年間降水量は1000mm程度と少ない。
3. 一年を通じて降水量が少なく、冬は乾燥して晴天の日が多いが、夏は季節風の影響で蒸し暑くなる。
4. 夏は南東からの季節風によって雨が多くなるが、冬は山を越えた乾燥した風が吹くため、雨や雪が非常に少ない。

問9　日本の茶の主産地では、4月上旬頃の気象条件に合わせて「防霜ファン」を稼働させることがあります。この設備が稼働する背景となる自然現象と、その仕組みについて説明した文として正しいものを選びなさい。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 春先に発生しやすい濃霧が日照を妨げるため、扇風機の風で霧を散らして茶の芽の成長を促進させる。
2. 梅雨時期の高温多湿な環境で発生する病原菌を抑えるため、風を送り続けて茶の葉の表面を乾燥させる。
3. 夏場の強い日差しによる土壌の乾燥を防ぐため、風を送ることで地中の水分を効率よく吸い上げさせる。
4. 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。

問10　石川県金沢市の産業や文化の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）

1. 古くから大規模な港湾整備が進み、重化学工業の原料を輸入して加工する臨海工業地帯として発展を遂げている
2. 加賀友禅や金沢箔などの伝統的工芸品が、城下町としての歴史的背景の中で発展し、今もなお受け継がれている
3. 寺院の門前に発達した門前町としての特色を活かし、全国の寺院で使用する仏具の機械による大量生産に特化している
4. 積雪を避けるために地下街が発達し、現代的な商業施設を中心としたサービス業が産業のほぼ全てを占めている

問11　中部地方の太平洋側に広がる中京工業地帯および東海工業地域について述べた文として、正しいものはどれか。（2015年 大分県公立入試 類似）

1. 千葉県から茨城県にかけての臨海部において、大規模な掘り込み港を中心に重化学工業が発達した。
2. 岡山県倉敷市の水島地区などに大規模な石油化学コンビナートが形成され、原料の輸入に依存している。
3. 静岡県の浜松市などで、オートバイや楽器の製造、精密機械工業が盛んに行われている。
4. 北九州市を中心に官営の製鉄所が建設されたことで発展し、現在も鉄鋼業が中心である。

問12　中京工業地帯では自動車工業などの輸送用機械の製造が盛んですが、その生産体制を支える仕組みについて述べた文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。（2016年 滋賀県公立入試 類似）

1. 高速道路のインターチェンジ付近に、小型で高価なIC（集積回路）を製造する工場が分散して立地している。
2. 古くから伝わる伝統的な技術を継承するため、小規模な職人の工房が都市部に密集して生産を行っている。
3. 原材料の輸入に有利な港湾部に、石油化学コンビナートと製鉄所を集中させ、素材生産を主軸としている。
4. 大規模な組み立て工場の周辺に、部品を製造する関連工場が集中して立地し、効率的な生産を行っている。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 下地の工程で、地元で採れる地粉（珪藻土）を漆に混ぜて塗り、器を補強している。	輪島塗が「堅牢」と言われる最大の理由は、下地作りにあります。輪島特産の地粉（じのこ）と呼ばれる珪藻土を焼いた粉を漆に混ぜて何度も塗り重ねることで、漆器の弱点である縁（ふち）などの摩耗しやすい部分を徹底的に補強しています。これにより、修理をしながら一生使い続けることができるほどの丈夫さが生まれます。他の選択肢は金属加工や木工技術の説明であり、漆器の技法ではありません。
問2	答え 2 静岡県	東海工業地域に含まれ、浜松市の輸送用機械（オートバイ・自動車）や楽器、富士市の製紙・パルプ産業などが発達しているため、第2次産業就業者割合が高いのが特徴である。北海道や青森県は農業や漁業などの第1次産業の割合が比較的高い傾向にあり、沖縄県は第3次産業の割合が極めて高い。
問3	答え 4 山梨県	青森県（東北新幹線・北海道新幹線）、石川県（北陸新幹線）、鹿児島県（九州新幹線）には、それぞれ新幹線の路線と駅が存在します。一方、山梨県は隣接する静岡県を東海道新幹線が通っていますが、山梨県内には新幹線の路線自体が通っておらず、駅も設置されていません。ただし、将来的に「リニア中央新幹線」の駅が設置される予定があることが、地理上の大きな特徴です。
問4	答え 1 自動車工業を中心に発達し、豊田市などに大きな工場が集中的に立地している。	製造品出荷額が全国1位の愛知県では、豊田市などを中心に自動車工業が著しく発達しています。石油化学コンビナートが盛んなのは三重県や山口県などであり、電子部品・半導体は九州地方や東北地方などの特徴となります。
問5	答え 2 鯖江市	鯖江市は福井県に位置し、冬季の積雪が厳しい環境下で、農家の冬の副業として眼鏡作りを導入したことが現在の地場産業の基盤となりました。選択肢にある岐阜県の高山市は木材加工を活かした家具（飛騨の家具）、京都府の宮津市は日本三景の天橋立や織物、岡山県の岡山市は学生服やジーンズなどの繊維産業が有名ですが、眼鏡フレームといえば鯖江市が代表的な産地です。
問6	答え 2 食料品工業	名古屋市のような大都市の工業構成では、多くの人口を抱える「大消費地」に近い利点を活かした、消費地立地型の工業が発達する傾向があります。出荷額の14%を占める食料品工業は、パンや菓子、飲料など、都市住民の生活に密着した製品を迅速に供給するために、都市近郊や都市内部に工場が置かれる典型的な事例です。なお、非鉄金属は約8%であり、食料品工業に次ぐ主要な構成要素となっています。
問7	答え 3 新潟県：米、山梨県：果実、長野県：野菜	新潟県は越後平野を中心に日本有数の米の産地として知られ、農業産出額でも米が圧倒的な割合を占めます。山梨県は甲府盆地の扇状地などの水はけのよい地形を利用したブドウやモモなどの果実栽培が盛んです。長野県は、冷涼な高原の気候を活かしたレタスやキャベツなどの野菜（高冷地農業）の産出額が大きくなっています。
問8	答え 1 冬は北西からの季節風の影響で雪や雨が多く、12月や1月の降水量が300mmを超えるなど、冬の降水量が夏より多い。	北陸地方に代表される日本海側の気候は、冬の降水量が際立って多いことが最大の特徴です。統計データにおいても、12月や1月の降水量が月間300mmを超える地点があり、梅雨や台風の影響を受ける夏場の降水量よりも、冬の降雪・降雨による水分量の方が多くなる傾向があります。一方、太平洋側の気候では冬に乾燥し、中央高地では年間を通じて降水量が少なくなります。
問9	答え 4 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。	茶の産地において、春先の気温低下は「晩霜（ばんそう）被害」として恐れられています。特に雲のない晴れた夜間は放射冷却が強まり、地表付近の温度が氷点下近くまで下がることがあります。このとき、地上6〜8メートル付近には地表よりも数度高い温度の空気層（逆転層）ができるため、防霜ファンでその暖かい空気を地表に送り込むことで、デリケートな新芽が凍りつくのを防いでいます。
問10	答え 2 加賀友禅や金沢箔などの伝統的工芸品が、城下町としての歴史的背景の中で発展し、今もなお受け継がれている	金沢市は加賀藩の城下町として発展した都市であり、当時の藩主が文化振興に力を入れたことから、加賀友禅（染物）や金沢箔（金箔）などの優れた工芸技術が育まれました。これらは現代において「伝統的工芸品」として指定されており、歴史的な街並みとともに観光資源や地域の重要な産業となっています。他の選択肢にある「門前町」や「近郊農業」などは北陸地方のこの文脈においては誤りです。
問11	答え 3 静岡県の浜松市などで、オートバイや楽器の製造、精密機械工業が盛んに行われている。	東海工業地域は静岡県を中心とした地域を指し、浜松市の楽器やオートバイ、磐田市の輸送機械、富士市の製紙業など、多様な加工組立産業や伝統的な地場産業が発展しているのが特徴です。他の選択肢は、瀬戸内工業地域、北九州工業地帯、鹿島臨海工業地域の記述です。
問12	答え 4 大規模な組み立て工場の周辺に、部品を製造する関連工場が集中して立地し、効率的な生産を行っている。	自動車は数万点に及ぶ膨大な数の部品から構成されるため、最終的な組み立てを行う工場の近くに、それらの部品を供給する関連工場が多数集まることで、輸送コストの削減や在庫管理の効率化を図っています。このような関連工場との密接な連携が、中京工業地帯における強固な機械工業の基盤となっています。

中部地方

名前

問1　中京工業地帯は地域によって主要な工業が異なります。愛知県豊田市周辺では自動車工業が中心であるのに対し、三重県の四日市市周辺で特に発達し、他産業に原材料を供給する役割を担っている工業の名称を選択してください。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. 精密機械工業
2. 石油化学工業
3. せんい工業
4. 食料品工業

問2　日本海に大きく突き出た能登半島を擁する石川県において、その行政の中心である県庁所在地として正しい都市名を選択してください。（2017年 秋田県公立入試 類似）

1. 新潟市
2. 金沢市
3. 福井市
4. 富山市

問3　日本で最も長い河川であり、長野県から新潟県へと流れて日本海に注ぐ河川の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2025年 愛媛県公立入試 類似）

1. 利根川
2. 信濃川
3. 石狩川
4. 阿賀野川

問4　東京都中央卸売市場におけるレタスの月別取扱量の統計をみると、8月を中心とした夏季において、長野県産の取扱量が他県を圧倒して多くなっています。このように、標高が高い地域の涼しい気候を活かして、他の地域が栽培に適さない時期に野菜を出荷する農業形態を何といいますか。（2019年 長崎県公立入試 類似）

1. 高冷地農業
2. 二毛作
3. 近郊農業
4. 促成栽培

問5　愛知県の渥美半島は、かつては水不足に悩まされる地域でしたが、ある大規模な用水路が整備されたことで、日本有数の農業地帯へと発展しました。この地域に供給され、施設園芸農業の発展を支えている用水の名称として正しいものはどれですか。（2026年 富山県公立入試 類似）

1. 愛知用水
2. 明治用水
3. 豊川用水
4. 香川用水

問6　日本海側の気候の特色を示す統計において、海岸沿いの新潟市と、内陸の盆地に位置する長野市の月別降水量を比較したとき、新潟市の方が冬季の降水量が格段に多くなる傾向があります。この理由を述べたものとして正しいものはどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）

1. 長野市などの内陸部は標高が高いため、雪に変わる前の水蒸気がすべて沿岸部で雨として落下してしまうため
2. 新潟市は対馬海流という寒流の影響を強く受けるが、内陸の長野市は地形の影響で気温が下がりにくいため
3. 盆地特有の地形で、夏に蓄えられた熱によって冬の雲が消滅し、降水が抑制されるため
4. 北西からの季節風が、まず海岸付近で雪や雨を降らせ、内陸の盆地には山々に遮られた乾燥した空気が流れ込むため

問7　東海地方、特に渥美半島周辺で「電照菊」などの施設園芸農業が発達した理由と、その営農上の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2019年 鳥取県公立入試 類似）

1. 季節風を遮る高い山々に囲まれた盆地の気候を活かし、扇状地を利用してブドウやモモなどの果樹栽培を専門に行っている。
2. 夏の冷涼な気候を活かして、他の地域で収穫できない時期に野菜を出荷する抑制栽培を行い、輸送園芸を成立させている。
3. 広大で平坦な土地を確保しやすいため、大型機械を導入して、小麦や大豆などを大規模に生産する土地利用型農業を行っている。
4. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、温室などの設備を用いて出荷時期を調整しながら、大消費地へ向けて生産している。

問8　中部地方で見られる農業の特色について、その背景や理由を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）

1. 長野県では、冬の積雪が少ないことを活かして、工芸作物を中心とした農業産出額が最大となっている。
2. 新潟県では、内陸の乾燥した気候を活かして、畜産と野菜の産出額が米を大きく上回っている。
3. 愛知県では、都市部から遠い立地を活かして、大規模な米の産地形成が他の作物よりも優先されている。
4. 山梨県では、盆地周辺の傾斜地や扇状地の水はけが良いことを活かして、果実の産地形成が進んでいる。

問9　2015年に長野から金沢駅まで延伸開業した北陸新幹線が、地域社会や交通網に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）

1. 東京との間の所要時間が大幅に短縮されたことで、首都圏からの観光客が増加し、地域活性化につながった。
2. 新幹線開通と同時に並行する在来線の運行本数が増加し、地域住民の日常的な利便性が飛躍的に向上した。
3. 新幹線の整備によって運賃が大幅に低下したため、自家用車や高速バスを利用する人がいなくなった。
4. 交通の利便性が向上したことにより、地方から東京へ人口が集中する「ストロー現象」が解消された。

問10　静岡県などの茶の栽培地域において、高いポールの先に扇風機が設置された「防霜ファン」という設備が導入されている理由として、最も適切なものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 地表付近の湿った空気を上空へ拡散させ、茶の葉がカビによる病気になるのを防ぐため。
2. 強い風を茶の葉に直接当てることで、害虫の付着を防ぎ、農薬の使用量を減らすため。
3. 人工的な風によって茶の葉を揺らし、光合成を活発にさせることで収穫量を増やすため。
4. 上空にある比較的暖かい空気を地表付近に送り込み、新芽が霜の被害を受けるのを防ぐため。

問11　中部地方の産業に関する説明において、石川県の県庁所在地であり、歴史的な屏風の装飾などにも使われる伝統工芸品の金箔（きんぱく）が、国内生産量のほとんどを占めている都市はどこか。（2016年 京都府公立入試 類似）

1. 富山市
2. 輪島市
3. 金沢市
4. 福井市

問12　中部地方の日本海側に位置する北陸地方（富山県など）の工業について、製品出荷額の構成比を示した統計において、金属工業が約9.5%、化学工業が約11.3%を占めるなど、これらの産業の割合が他地域に比べて高いという特徴があります。北陸地方でこのような工業が発達した歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 首都圏へのアクセスが良いため、鮮度が重視される食料品工業が優先的に発達したため
2. 急峻な地形と豊富な水量を活かした水力発電による、安価な電力を利用できたため
3. 広大な平野部を利用して、自動車や航空機などの輸送用機械の組み立て工場が集中したため
4. 大規模な石油コンビナートが沿岸部全体に広がり、プラスチック加工が産業の中心となったため

問13　静岡県島田市の地形図において、権現原周辺に茶畑の地図記号が広く見られる理由として、この地域の自然環境や地理的条件から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 寒冷な気候に強く、雪の多い地域でも安定して収穫できる作物として推奨されたため。
2. 大井川沿いの台地で水はけが良く、温暖な気候が茶の生育に適しているため。
3. 島田駅や図書館などの公共施設が南側に集まっており、都市部での消費が期待できるため。
4. 大井川から大量の水を引くことが容易であり、常に湿潤な土地を好む茶の性質に合っているため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 石油化学工業	中京工業地帯は日本最大の出荷額を誇りますが、その内訳は場所ごとに特色があります。内陸部の豊田市を中心とした自動車工業（輸送用機械）と並び、伊勢湾沿いの四日市市では臨海部の立地を活かした石油化学工業が発達しており、重化学工業の重要な拠点となっています。
問2	答え 2 金沢市	北陸地方に位置する石川県は、能登半島という特徴的な地形を持っています。その県庁所在地である金沢市は、北陸地方の政治・経済・文化の拠点として重要な役割を果たしており、歴史的には加賀藩の城下町として発展した背景があります。
問3	答え 2 信濃川	全長約367kmにおよぶ日本で最も長い河川です。上流の長野県内では千曲川と呼ばれ、新潟県に入ると信濃川と名称が変わります。越後平野（新潟平野）を形成する要因の一つとなっており、稲作が盛んな地域の農業用水としても重要な役割を担っています。
問4	答え 1 高冷地農業	長野県の八ヶ岳山麓や浅間山麓などは標高が高いため、夏でも涼しい気候が保たれます。この自然環境を利用して、平地では気温が高すぎて栽培が難しい夏季に、レタスやキャベツなどの高原野菜を栽培・出荷しています。市場での供給が減る時期に合わせることで、有利な価格で販売する工夫がなされています。
問5	答え 3 豊川用水	渥美半島はもともと大規模な河川がなく水不足に悩まされていましたが、1960年代に豊川用水が完成したことで、安定した農業用水の確保が可能になりました。これにより、温室を利用した施設園芸農業が急速に発展しました。なお、愛知用水は知多半島、明治用水は安城市周辺（西三河平野）を流れる用水です。
問6	答え 4 北西からの季節風が、まず海岸付近で雪や雨を降らせ、内陸の盆地には山々に遮られた乾燥した空気が流れ込むため	湿った季節風が山脈にぶつかる際、風が直接当たる海岸沿いの地域で最も活発に雪や雨が降ります。長野市のような内陸の盆地は周囲を高い山に囲まれているため、湿った空気が入り込みにくく、海岸沿いの新潟市などに比べると冬季の降水量は少なくなります。
問7	答え 4 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、温室などの設備を用いて出荷時期を調整しながら、大消費地へ向けて生産している。	東海地方の太平洋沿岸は、黒潮の影響により冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候的条件に加えて、温室やビニールハウスなどの施設を導入することで、植物の成長を早めたり開花時期をコントロールしたりすることが可能になります。こうして生産された農産物は、中京圏や首都圏といった人口の多い大都市（大消費地）へ向けて出荷されます。盆地での果樹栽培は山梨県、冷涼な気候を利用した抑制栽培は長野県などの高地、大規模な畑作は北海道に多く見られる特徴です。
問8	答え 4 山梨県では、盆地周辺の傾斜地や扇状地の水はけが良いことを活かして、果実の産地形成が進んでいる。	農業の特色は、その土地の自然環境と深く結びついています。山梨県の甲府盆地周辺は、果樹栽培に適した「水はけの良い地形」を活かして、果実の産出額が非常に高くなっています。長野県は冷涼な気候を活かした野菜、新潟県は平野と豊富な水資源を活かした米が主力であり、それぞれ異なる背景に基づいて産地形成が行われています。
問9	答え 1 東京との間の所要時間が大幅に短縮されたことで、首都圏からの観光客が増加し、地域活性化につながった。	北陸新幹線の延伸により、首都圏と北陸地方を結ぶ鉄道の所要時間が大幅に短縮されました。これにより、金沢駅を中心とした観光地へのアクセスが向上し、交流人口の増加や観光消費による経済効果がもたらされました。一方で、新幹線の運賃は安価になるわけではなく、また大都市へ人や経済が吸い寄せられる「ストロー現象」や、並行在来線の経営分離といった課題も存在します。
問10	答え 4 上空にある比較的暖かい空気を地表付近に送り込み、新芽が霜の被害を受けるのを防ぐため。	4月上旬などの春先は、茶の柔らかい新芽が芽吹く時期ですが、夜間に地表の熱が奪われる「放射冷却」が起きると、地表付近の温度が下がって霜が降りることがあります。新芽が霜に当たると枯れてしまい、品質や収穫量に大きな影響が出るため、地上数メートルの高さにある比較的暖かい空気をファンで地表に送り込み、茶畑の温度を下げないように工夫されています。
問11	答え 3 金沢市	石川県の県庁所在地である金沢市は、江戸時代から続く伝統工芸が盛んな都市です。特に金箔は、現代においても全国の生産量のほぼ100%を占める代表的な産業となっており、俵屋宗達の「風神雷神図屏風」といった歴史的文化財の装飾など、古くから日本の美意識を支えてきました。選択肢にある輪島市は輪島塗で有名ですが、県庁所在地ではありません。
問12	答え 2 急峻な地形と豊富な水量を活かした水力発電による、安価な電力を利用できたため	北陸地方、特に富山県などは、雪解け水や急流な河川を利用した水力発電が盛んに行われてきました。金属工業（アルミニウム精錬など）や化学工業は、製造過程で大量の電力を消費するため、安価な電力を得やすいこの地域で古くから発達しました。現在もその名残から、全国平均に比べて化学や金属の割合が高い傾向にあります。
問13	答え 2 大井川沿いの台地で水はけが良く、温暖な気候が茶の生育に適しているため。	茶の栽培には、年間を通じて温暖な気候であることと、根腐れを防ぐために水はけ（透水性）が良い土地であることが重要です。島田市を流れる大井川周辺の台地や斜面は、砂礫質の土壌が多く水はけに優れているため、大規模な茶園が発達しました。選択肢にある「図書館が南にある」といった情報は土地利用の直接的な理由にはなりません。

中部地方

名前

問1　日本の工業地帯・地域別の統計において、全国の工業生産額の約27.1%を占め、第1位となっている地域の特徴として最も適当なものはどれか。（2015年 大分県公立入試 類似）

1. 古くから繊維工業や金属工業が発展し、現在は中小の機械工場が密集する阪神工業地帯を含んでいる。
2. 印刷・出版業が集積し、東京都を中心とした巨大な消費地に隣接する京浜工業地帯を中心としている。
3. 自動車産業の強力な集積を背景に、輸送用機械の製造品出荷額が非常に多い中京工業地帯を含んでいる。
4. 石油化学コンビナートが沿岸部に形成され、化学工業の割合が高い瀬戸内工業地域を中心としている。

問2　北陸新幹線の開業にともない、東京駅から富山駅までの所要時間は3時間14分から2時間8分へ、金沢駅までは3時間51分から2時間28分へとそれぞれ大幅に短縮されました。このような高速交通網の整備が地域にもたらす直接的な変化として、最も適切なものはどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）

1. 所要時間の短縮によって、地方から都市部への人口流入が完全に解消された。
2. 移動にかかる運賃が大幅に引き下げられたため、通勤・通学客が中心となった。
3. 大都市圏からのアクセスが向上したことで、利便性が高まり観光客が増加した。
4. 鉄道利用者が減少し、その代わりに航空機を利用する観光客が急増した。

問3　北側に「南アルプス」の一部である3000m級の赤石山脈が走り、南東部には火山が多く見られる山がちな地形の半島が位置する都道府県と、その半島の名称の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 愛知県と渥美半島
2. 静岡県と伊豆半島
3. 三重県と志摩半島
4. 石川県と能登半島

問4　山梨県は東京都に隣接しており、中央自動車道やJR中央本線などの主要な交通網が整備されていますが、新幹線の状況については他の周辺自治体と異なる特徴があります。山梨県の新幹線に関する現在の状況と今後の計画について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 愛媛県公立入試 類似）

1. 現在、県内に新幹線の路線や駅は存在しないが、リニア中央新幹線の駅が設置される計画が進んでいる。
2. 上越新幹線の開通によって、首都圏との移動時間が大幅に短縮された。
3. 東海道新幹線が県南部をわずかに通過しているが、駅は設置されていない。
4. 北陸新幹線の延伸ルートに含まれており、県庁所在地に新駅が建設中である。

問5　人口密度が1平方キロメートルあたり約4600人と非常に高く、人口が増加傾向にある愛知県のような都市部では、昼夜間人口比率が100%を超えています。このような現象が起こる主な理由として最も適切な説明を選びなさい。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 出生率が死亡率を大きく上回り、自然増によって年少人口の割合が周辺地域よりも高くなっているため
2. 周辺の地域から通勤や通学のために流入する人口が、その地域から流出する人口を上回っているため
3. 大規模な集合住宅の建設が周辺部で進んだ結果、夜間に居住する人口が昼間の人口を上回ったため
4. 観光資源が豊富であり、宿泊を伴わない日帰り観光客が夜間もそのまま滞在し続ける仕組みがあるため

問6　日本の諸地域において、気候に合わせた住まいの工夫が見られます。岐阜県などの雪が多い地域で、屋根の傾斜を急にすることで雪対策を行っている伝統的な住居の名称として正しいものを選びなさい。（2017年 広島県公立入試 類似）

1. 寝殿造り
2. 合掌造り
3. 書院造り
4. 高床住居

問7　かつて藩主が文化振興に力を入れた歴史的背景を持ち、現在も加賀友禅や金沢箔、そして能登半島の「輪島塗」など、多くの伝統的工芸品が生産されている都道府県を選びなさい。（2019年 北海道公立入試 類似）

1. 富山県
2. 福井県
3. 石川県
4. 岐阜県

問8　中部地方の福井県に位置する若狭湾や、石川県の能登半島の一部では、山地の谷に海水が入り込むことで、小さな岬と湾が連続する複雑に入り組んだ海岸線が見られます。このような海岸地形の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2022年 山口県公立入試 類似）

1. リアス海岸
2. 三角州
3. 海岸平野
4. 砂州

問9　太平洋に面した浜松市のデータでは、1月の平均気温が6度を超えて温暖であり、夏に降水量が多くなる特徴が示されています。このような「太平洋側の気候」において、冬の天候を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 寒流の影響を強く受けるため、冬は非常に冷え込み、沿岸部では霧が発生しやすい
2. 北西の季節風が山脈を越えて吹き降りるため、晴天の日が多く乾燥する
3. 周囲を山に囲まれているため、雪も雨もほとんど降らず、年間を通して気温の変化が小さい
4. 湿った季節風の影響を直接受けるため、曇りや雨の日が多くなる

問10　中部地方に位置する長野県の農業について、2016年の農業産出額の品目別割合を示した資料に基づいた説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この資料では群馬県、富山県、愛媛県と比較して長野県の特徴が示されています。（2019年 大分県公立入試 類似）

1. 麦類や豆類の産出額が中心であり、果実の割合は他県よりも低い。
2. 米の産出額が全体の半分以上を占めており、野菜の割合は極めて低い。
3. 畜産の産出額が最も大きな割合を占め、野菜の栽培はほとんど行われていない。
4. 野菜の占める割合が非常に高く、次いで果実の割合も他県に比べて大きい。

問11　日本アルプスなどの高い山々に囲まれた中央高地の盆地では、他の地域と比較して「ため池」が多く見られます。この地域でため池の利用が発達した理由について、地形と気候の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 愛媛県公立入試 類似）

1. 山地からの急斜面が多く、降った雨がすぐに海へ流れ出てしまい、地下水が全く蓄えられないため。
2. 内陸部で夏の気温が非常に高くなるため、土壌に含まれる水分が蒸発しやすく、常に大量の散水が必要なため。
3. 標高が高いため冬の寒さが厳しく、河川の大部分が凍結して農業用水の取り入れが困難になるため。
4. 湿った季節風が高い山々に遮られ、盆地内に流れ込む空気が乾燥することで降水量が少なくなるため。

問12　日本屈指の穀倉地帯として知られるある県の農業について、統計資料における農業産出額の内訳を確認すると、その過半数を「米」が占めており、野菜や畜産、果実の割合が全国平均と比較して相対的に低いという特徴があります。この県として最も適切なものはどれですか。（2020年 兵庫県公立入試 類似）

1. 宮崎県
2. 愛知県
3. 新潟県
4. 和歌山県

問13　中部地方の農業について述べた次の文を読み、空欄にあてはまる最も適切な用語を答えなさい。「中部地方の各県では、地形や気候の特色を活かした農業が行われています。農業産出額の統計を見ると、新潟県では稲作が盛んなため『米』が、山梨県では盆地の傾斜地などを利用するため『果実』が、長野県や愛知県では『野菜』がそれぞれ大きな割合を占めています。このように、各地域が特定の農産物を重点的に生産する体制を整えることを（ ）といいます。」（2017年 奈良県公立入試 類似）

1. 産地形成
2. 近郊農業
3. 工芸作物の栽培
4. 畜産経営

答え合わせ・解説

問1	答え 3 自動車産業の強力な集積を背景に、輸送用機械の製造品出荷額が非常に多い中京工業地帯を含んでいる。	中部地方の太平洋側に位置する中京工業地帯は、愛知県の豊田市などを中心に世界的な自動車産業の集積地となっており、日本の工業生産額において長年第1位を維持しています。特に輸送用機械の占める割合が極めて高いことが、全体の生産額を押し上げる大きな要因となっています。
問2	答え 3 大都市圏からのアクセスが向上したことで、利便性が高まり観光客が増加した。	新幹線の開業による最大のメリットは、高速走行によって目的地までの所要時間が大幅に短縮されることです。特に首都圏などの大都市圏からの移動が容易になることで、これまで時間的な制約で訪問を控えていた層が観光に訪れるようになり、観光客の増加や地域経済の活性化が期待されます。一方で、便利になったことで宿泊せずに帰ってしまう「日帰り化」や、地域の購買力が大都市に流れる「ストロー現象」といった課題も存在します。
問3	答え 2 静岡県と伊豆半島	静岡県は北側に険しい赤石山脈（南アルプス）を抱え、南東部にはフィリピン海プレートの移動によって本州に衝突した歴史を持つ伊豆半島が位置しています。伊豆半島は火山活動の影響で山がちな地形をしており、その周囲にはリアス海岸のような入り組んだ海岸線が見られるのが特徴です。
問4	答え 1 現在、県内に新幹線の路線や駅は存在しないが、リニア中央新幹線の駅が設置される計画が進んでいる。	山梨県は、現時点で日本の新幹線網（フル規格およびミニ新幹線）が通っていない県の一つです。東海道新幹線は山梨県の南側にある静岡県を通過しており、山梨県内は通りません。しかし、超電導リニアを用いた「リニア中央新幹線」の実験線が山梨県内に設置されており、将来の全線開通時には県内に駅が設置される予定となっています。
問5	答え 2 周辺の地域から通勤や通学のために流入する人口が、その地域から流出する人口を上回っているため	昼夜間人口比率は、夜間の居住人口に対する昼間人口（常住人口＋流入人口ー流出人口）の割合を示したものです。名古屋市のような大都市を抱える地域では、企業や学校が集中しているため、周辺の自治体から多くの人々が仕事や勉強のために集まります。その結果、昼間の人口が夜間の居住人口を上回り、比率が100%を超えることになります。
問6	答え 2 合掌造り	岐阜県の白川郷や富山県の五箇山に見られる、急傾斜の茅葺き屋根が特徴の住居は「合掌造り」と呼ばれます。この名称は、急な屋根の形が、手を合わせて拝む「合掌」の形に似ていることに由来しています。雪深い地域において、積雪の重みから家を守るための合理的な建築様式として発展しました。現在は世界文化遺産にも登録され、地域の貴重な文化資源となっています。
問7	答え 3 石川県	江戸時代の加賀藩による工芸奨励策の影響で、石川県では伝統産業が高度に発達しました。特に能登半島の輪島塗や金沢市の友禅染・金箔などは全国的にも有名です。富山県は薬売りやアルミ産業、福井県は眼鏡枠や繊維産業などが知られています。
問8	答え 1 リアス海岸	起伏の激しい山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、かつての谷の部分に海水が入り込み、複雑な海岸線が形成されました。中部地方では若狭湾がその代表例として知られています。
問9	答え 2 北西の季節風が山脈を越えて吹き降りるため、晴天の日が多く乾燥する	太平洋側の地域では、冬に北西の季節風が山脈を越える際、日本海側に雪を降らせて水分を失い、乾燥した空気となって吹き降ろしてきます。このため、浜松市のような太平洋側の地域では冬に晴天の日が多くなり、空気が乾燥するのが大きな特徴です。
問10	答え 4 野菜の占める割合が非常に高く、次いで果実の割合も他県に比べて大きい。	長野県は中央高地の冷涼な気候や水はけの良い傾斜地を活かし、レタスやキャベツなどの高原野菜、およびリンゴやブドウなどの果実の栽培が非常に盛んです。そのため、農業産出額の構成を見ると、米が中心の富山県や、畜産の割合が高い地域とは異なり、野菜と果実が大きな割合を占めているのが特徴です。
問11	答え 4 湿った季節風が高い山々に遮られ、盆地内に流れ込む空気が乾燥することで降水量が少なくなるため。	中央高地の盆地では、夏は太平洋側から、冬は日本海側から吹く湿った季節風が、それぞれ周囲の山々を越える際に雨や雪を降らせます。山を越えて盆地側に吹き込む風は乾燥しているため、年間降水量が少なくなります。この気候的制約を克服し、農業用水を確保する手段としてため池が重要な役割を果たしています。
問12	答え 3 新潟県	新潟県は日本一の米の収穫量を誇る「米どころ」として知られ、越後平野を中心に大規模な稲作が行われています。その農業構造は米への依存度が極めて高く、農業産出額の構成においても米が圧倒的な割合を占めるという、他の都道府県にはあまり見られない顕著な特色を持っています。
問13	答え 1 産地形成	各地域の気候や地形、土壌などの自然条件や、大消費地からの距離といった社会的な条件に合わせて、特定の農産物を重点的に生産する仕組みのことです。これにより、生産の効率化やブランド化が図られます。選択肢にある工芸作物（茶や綿花など）や畜産（家畜の飼育）も農業の一部ですが、この現象全体を指す言葉としては不適切です。